

会 議 録

会議の名称	長期計画審議会（第1回）
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係
開催日時	平成27年3月9日(月)午後6時00分～午後8時25分
開催場所	商工会館2階大会議室
出席者	<p>会長 渡邊 嘉二郎 委員</p> <p>職務代理者 高橋 雅栄 委員</p> <p>委員 久保 節紀 委員 中村 裕子 委員</p> <p>岡本 鮎実 委員 渡邊 智子 委員</p> <p>竹之内 一幸 委員 鉄矢 悦朗 委員</p> <p>今井 啓一郎 委員 上原 和 委員</p> <p>志田 尚紀 委員 本木 治子 委員</p> <p>福元 弘和 委員 杉山 薫 委員</p> <p>谷本 俊哉 委員 川合 修 委員</p>
市長	稲葉 孝彦
事務局	<p>企画政策課長 水落 俊也</p> <p>企画政策課長補佐 中田 陽介</p> <p>企画政策課主任 工藤 真矢</p> <p>企画政策課副主査 廣田 豊之</p> <p>有限責任監査法人 トーマツ 堀井 敬太</p>
傍聴の可否	Ⓒ 一部不可 不可
傍聴者数	1人
<p>【会議次第】</p> <p>1 委員の委嘱</p> <p>2 会長の互選について</p> <p>3 第4次基本構想・後期基本計画の策定に係る諮問について</p> <p>4 会議の運営等について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 会議録</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 意見・提案シート</p> <p>5 全体のスケジュール等について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) スケジュール</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 審議会、起草委員会の役割</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 庁内策定状況</p> <p>6 現状分析結果について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 市民意向調査</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 人口推計</p> <p>7 次回以降の開催日について</p> <p>8 その他</p>	

【会議結果】

- 1 委員の委嘱
- 2 会長の互選について

【決定事項】

会長：渡邊委員、職務代理者：高橋委員

- 3 第4次基本構想・後期基本計画の策定に係る諮問について
- 4 会議の運営等について《資料No.1、1-1、1-2、1-3、1-4》

(1) 会議録

○事務局から説明《資料No.1、1-2》

- ・会議録の作成方法を協議いただきたい。(市民参加条例施行規則第5条に従って①全文記録、②発言者の発言内容ごとの要点記録、③会議内容の要点記録のいずれか)
- ・前は要点記録も添付した全文記録であった。

○主な意見

- ・全文記録では、情報量が多く誰も読まない。誰がどんな発言をしたかということが明瞭でなくてもいいので、自由度の高い議論を行うなら要点をまとめてもらう方がよい。市民にとっても見やすくよいのではないか。
- ・要点記録の場合も全文記録を起し要点記録を作成するが、施行規則で決まっている3つの方法であれば特に問題はない。(事務局)

【決定事項】

- ・会議録の作成方法は、(発言者名は記入しない) 会議内容の要点記録
- ・委員全員に校正原稿を郵送し、校正があれば事務局で修正の上、最終、会長一任として決定し、公開する。

(2) 意見・提案シート

○事務局から説明

- ・傍聴環境の整備に関して、傍聴者の意見を積極的に反映できるようにするため、市の幾つかの会議で設置している。
この審議会で設置するか、運用をどのようにするか協議いただきたい。《資料No.1-4》

○主な意見

- ・シートの提出があった場合に、この審議会ですべて対応するか。それとも事務局で対応するか。
→委員から審議に取り上げたいという申し出があったときに審議の対象にしている。また「意見・提案シート」とは別に「パブリックコメント」という市民の意見を聴く制度では、必ず意見についての回答はする。(事務局)

- ・逐次意見を全部取り上げながら、取り扱いまで審議するのは大変ではないか。
- ・以前他の審議会で実施したが、委員が気付いていない点や他にもいい意見をいただけたし、広く意見をいただくことができるので、それはメリットだ。
- ・誹謗中傷や公序良俗に反するような意見があったとしても、一度見直しをしてやめるということもできる。

【決定事項】

運用する中で、意見・提案シートの扱いをどうするかを検討する。まずは、事務局案である、審議会委員からの申し出によって審議対象を決定するという方式で行う。

5 全体のスケジュール等について

(1) スケジュール 《資料No.2》

○事務局から説明

- ・概ね8月末に「中間答申」をいただき、平成28年度の予算編成のベースとなる「中期財政計画」を作る予定である。
- ・懇談会（6月末）時点では、審議会を4回実施しており、全体像はほぼ把握しているくらいの状態を想定している。

(2) 審議会、起草委員会の役割 《資料No.3》

○事務局から説明

- ・前期との違いは、起草委員会を第4次基本構想の4つの柱ごとのグループに分け、委員16名のため、1人1分野、各グループ4名を固定メンバーとして構成する。

○主な意見

- ・前期基本計画の総括については、自分で勉強するのか。前期の検証結果を示して欲しい。目標値の達成状況については計画を起草する上で必要な情報であるので示して欲しい。
→第2回審議会もしくは第1回の起草委員会までに進捗状況程度は示す。（事務局）

(3) 庁内策定状況 《資料No.4、4-1》

○事務局から説明

- ・総合的、大枠的な観点で計画案の策定を行う「長期総合計画策定本部」の指示のもと、専門部会、研究会の3つの組織に加え、各課と調整を図りながら、素案づくりを進めているところである。

6 現状分析結果について

(1) 市民意向調査 《資料：平成26年度小金井市市民意向調査報告書（速報

版) 冊子》

○事務局より説明

- ・平成 26 年 7 月に無作為抽出の市民 2 千人に郵送で調査
- ・713 人から回答
- ・市の住みやすさについて、「住みやすい」29.7%と「どちらかといえ
ば住みやすい」45.6%を合わせると 75.3%で、4 人中 3 人が肯定的な
回答である。
- ・定住志向について、「住み続けたい」が 38.3%で「できれば住み続け
たい」という方が 37.7%、合わせて 76%で、4 人中 3 人が今後も住
み続けたいとの回答である。
- ・そのほか、市の取組についての「満足度」「重要度」、今後、特に優先
的に進めていく必要がある取組、重点プロジェクトの評価などを掲載
している。

○主な意見

- ・満足、不満足という意見も大事であるが、「どちらともいえない」と
いう回答に着目すべきではないか。

(2) 人口推計《資料No.5》

○事務局から説明

- ・再開発などの人口に大きな影響を与える特殊要因は含まれていない現
時点での（案）である。
- ・現時点の推計では、平成 35 年まで増加を続け、11 万 9,900 人程度を
ピークに、その後は緩やかに減少していく。
- ・65 歳以上は推計期間である平成 42 年まで右肩上がりが増え続け、15
歳から 64 歳は全体傾向より早い平成 32 年の 7 万 9,700 人程度をピー
クに減少し、0 歳から 14 歳については、平成 35 年の 1 万 4,200 人程
度をピークに減少に転じる

7 次回以降の開催日について

平成 27 年 3 月 31 日（火）18 時～ 商工会館大会議室

8 その他

○主な意見

- ・次第に資料No.を入れて欲しい。また、事前に内容に関することを考え
られるため、次第も送付して欲しい。

～以上で会議終了～